

令和5年第1回臨時会（第1号）

令和5年1月31日（火曜日）午前10時00分開会

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第 1号 令和4年度七飯町一般会計補正予算（第10号）

○出席議員（17名）

議 長	18番	木 下 敏	副 議 長	17番	青 山 金 助
	1番	横 田 有 一		2番	神 崎 和 枝
	3番	平 松 俊 一		4番	池 田 誠 悦
	5番	田 村 敏 郎		6番	稲 垣 明 美
	7番	畑 中 静 一		8番	長谷川 生 人
	9番	上 野 武 彦		10番	坂 本 繁
	11番	澤 出 明 宏		12番	中 島 勝 也
	13番	川 村 主 税		15番	若 山 雅 行
	16番	川 上 弘 一			

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員

町 長 杉 原 太

○町長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

副 町 長	宮 田 東	総 務 課 長	中 村 雄 司
財 政 課 長	青 山 栄久雄	子 育 て 支 援 課 長	川 崎 恵 子
健 康 推 進 課 長	岩 上 剛	農 林 水 産 課 長	村 上 宏 樹
土 木 課 長	笠 原 泰 之	都 市 住 宅 課 長	川 島 篤 実

○地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員

教 育 長 與 田 敏 樹

○教育長の委任を受けたもので出席を求めた説明員

教 育 総 務 課 長 倍 楼 司 生涯教育課長 竹 内 圭 介

○本会議の書記

事 務 局 長 広 部 美 幸 書 記 山 本 翔 大
情 報 管 理 係 石 岡 洸 樹

○会議規則第116条の規定により指名された会議録署名議員

14番 江口勝幸

15番 若山雅行

午前10時00分 開会

開 議 宣 告

○議長（木下 敏） 皆さん、新年明けましておめでとうございます。

ただいまの出席議員数は18名です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

ただいまから、令和5年第1回七飯町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程に入る前に、町長より挨拶の申出がありますので、町長の発言を許します。

杉原太町長、演台でお願いいたします。

町 長 挨 拶

○町長（杉原 太） —登壇— 令和5年第1回七飯町議会臨時会開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

議員の皆様、おはようございます。本日は、令和5年第1回七飯町議会臨時会を招集申し上げましたところ、議員の皆様にご参集を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月より、数年ぶりの大雪となっておりますが、町民の皆様のご通勤、通学、外出等の安全確保のため、通学路を中心に除雪や排雪など、例年より回数を増やして対応しております。

また、1月7日、恒例の七飯消防出初め式、1月8日には、今年から名称を変更しましたが、七飯町「二十歳の集い」を開催いたしました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら2月11、12日開催の大沼・函館雪と氷の祭典の準備を進めてまいります。

そして、昨日1月30日に、総務省から住民基本台帳に基づく2022年の人口移動報告が発表となり、北海道の転出超過が3,476人と発表されました。道内179市町村で8割の144市町村が転出超過となりましたが、転入超

過となった35市町村の中に七飯町も含まれ、昨年の転入者数が1,145人、転出者が965人で、180人の転入超過となりました。

しかしながら、社会増を上回る自然減により2022年12月31日現在人口は、2万7,934人となり、2万8,000人を切りました。前年と比較して128人、0.46%の減少となりました。

次に、本臨時会に提出する議案は、除排雪経費の増額や出産・子育て応援交付金事業など、一般会計補正予算1件でございます。

詳細につきましては、担当課長より御説明申し上げますので、よろしく御審議いただき、議決賜りますようお願い申し上げます。

よろしく申し上げます。

○議長（木下 敏） 町長の挨拶を終わります。

日程第1

会議録署名議員の指名

○議長（木下 敏） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員として、

14番 江口 勝 幸 議員

15番 若山 雅 行 議員

以上2議員を指名いたします。

日程第2

会期の決定

○議長（木下 敏） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 御異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は、本日1日とすることに決定いたしました。

諸 般 の 報 告

○議長（木下 敏） この際、諸般の報告を行います。

地方自治法第121条の規定により本会議に出席を求めた説明員は、その職、氏名を印刷してお手元に配付のとおりであります。

次に、町政動向報告が町長より提出されておりますので、お手元に配付しております。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第3

議案第1号 令和4年度七飯町一般会計補正予算（第10号）

○議長（木下 敏） 日程第3 議案第1号令和4年度七飯町一般会計補正予算（第10号）についてを議題といたします。

提案説明を求めます。

財政課長。

○財政課長（青山栄久雄） それでは、議案第1号令和4年度七飯町一般会計補正予算（第10号）について、提案説明申し上げます。

このたびの補正予算（第10号）ですが、第1条は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,595万6,000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ130億8,747万6,000円とする補正予算でございます。

それでは、はじめに歳出から御説明申し上げます。7ページをお開き願います。

今回、提案します補正予算の概要となりますが、主なものとしまして1点目に国の物価高克服、経済再生実現のための総合経済対策における少子化対策、子ども・子育て世代への支援として、妊娠時から出産、子育てまで一貫した伴走型相談業務と経済的支援を一体で実施する出産・子育て応援事業に約2,380万円を追加。

2点目に、次世代を担う農業者となることを施行する経営開始直後の新規就農者に対して、経営確立に資する補助金を交付する北海道農業次世代人材投資事業に約325万円を追加。

最後に、本年度の降雪量が例年を上回るペー

スによる降雪のため、町道等の除排雪業務や各施設の除雪業務の委託料に不足が見込まれるため、これらの不足分を追加する補正予算となります。

最初に、3款民生費2項1目児童福祉総務費は、放課後児童対策費として大中山学童保育所の除雪委託料の追加分として8万5,000円を追加。

次に4款衛生費1項2目予防費は、出産子育て応援交付金事業として、妊娠届け時に妊婦1人当たり5万円支給する出産応援金と出生届け時に新生児1人当たり5万円を支給する子育て応援金の経済的支援事業となりますが、このたびの補正予算は事業開始の予算であるため、令和4年度に妊娠届け出をし、出産に至っていない妊婦の対象者を120名と見込み、令和4年度に出生した新生児の対象者を160人、令和3年度、4年度に妊娠し、令和4年度で出産した妊婦の対象者を160人として給付対象者の総数を440人で積算しております。

この事業の予算額であります。3節職員手当等から11節役務費までは、事務費として63万1,000円、12節委託料は健康カルテシステムの改修委託料に125万円、18節負担金補助及び交付金は、給付対象者440人に支給する出産・子育て応援交付金として2,200万円を追加し、事業合計で2,388万1,000円を追加するものでございます。

なお、この事業に要する財源であります。システム改修、または構築等に要する導入経費が国が全額負担し、それ以外の事務費及び給付金は国が6分の4、北海道及び町がそれぞれ6分の1を負担するものであります。

次に、6款農林水産業費1項3目農業振興費は、農業支援対策事業費として、町内において北海道が定める農業次世代人材投資資金の交付要件を満たす新規就農者2世帯に対し、経営確立に資する補助金を交付する北海道農業次世代人材投資事業補助金に325万9,000円を追加するものですが、この事業に係る財源は全額道費が充当されるものとなっております。

次の8款土木費、10款教育費に計上する補

正予算額は、降雪量の増加に伴う除排雪経費の不足分を追加する補正予算で、8款土木費2項1目道路橋りょう維持費の除排雪対策費は、町道等の除雪回数を4回分、排雪回数を2回分追加し、町道等除雪委託料に2,701万6,000円を追加、5項1目住宅管理費の公営住宅管理費は、鳴川高台団地、冬トピア団地、桜団地の除雪回数を各4回分、大沼団地の除雪回数を6回分追加し、町営住宅内除雪委託料に31万8,000円を追加、10款教育費2項1目学校管理費の校舎等営繕費、小学校は、次のページに移りまして四つの小学校、一つの義務教育学校の除雪回数を各6回分追加し、学校敷地内除雪委託料に74万5,000円を追加、次に3項1目学校管理費の校舎等営繕費、中学校は、二つの中学校、一つの義務教育学校の除雪回数を各6回分追加し、学校敷地内除雪委託料に47万6,000円を追加、最後に4項2目文化振興費の公民館管理費は、藤城公民館の除雪回数を2回分、峠下公民館を3回分、大沼多目的会館を5回分追加し、各公民館の除雪委託料に17万6,000円を追加するものでございます。

続きまして、5ページの歳入にお戻り願います。

10款地方交付税1項1目地方交付税の普通交付税に3,258万8,000円を追加、14款国庫支出金2項3目衛生費国庫補助金は、保健衛生費補助金として出産子育て応援交付金に1,633万7,000円を追加、15款道支出金2項3目衛生費道補助金は、同じく保健衛生費補助金として、補助対象経費の6分の1が交付される出産子育て応援交付金に377万2,000円を追加、最後に4目農林水産業費道補助金は、農業費補助金として北海道農業次世代人材投資事業補助金の歳出と同額の325万9,000円を追加するものでございます。

提案説明は以上でございます。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（木下 敏） これより、質疑を許します。

神崎和枝議員。

○2番（神崎和枝） 4款衛生費2項予防費で

す。一番の今日の目玉となる施策なのですが、昨日、広報に素早くこの部分が丁寧に載せていただいているという、すごい素晴らしいスピード感でされていると感じました。

今まで、妊娠、出産で5万円ずつというようなことで、後は伴走型の支援という、そういうことが今までなかなか、こういう名目ではなかったのですが、これまでも七飯町ではすごい支援をしてくださっているかと思うのです。

その中で、あとはどのような伴走型の支援を考えて、国に恐らく実施計画等を出されているかと思っておりますので、その中でお知らせをしていただきたいと思っております。

初めての伴走型というような名目での支援というのはなかったもので、進めながら恐らくいろいろなものが出てくるのかと思っておりますので、そのあたりを教えていただきたいと思っております。

○議長（木下 敏） 健康推進課長。

○健康推進課長（岩上 剛） それではお答えしてまいります。

今回の出産・子育て応援交付金、これは国の事業でございますけれども、御質問にありますとおり伴走型はどのような支援ということなのですが、これまで妊娠届けを出されたときには、もちろん保健師とお母さんが面談をして、母子手帳をお渡しするという面会の機会がありましたけれども、今回はそれに加えて妊娠8週目のときにまた面談させていただいて、出産してからも給付の手続きの際に面談の機会を設けるということで、子育てが順調に進んでいるかとか、ちょっと困りごとがないかだとか、そういう様子の確認ができる一つの機会にもなるかと思っております。

これまで以上にさらに手厚い面談の機会等重ねていながら、手厚い伴走型の支援を行っていければと考えております。

以上です。

○議長（木下 敏） 神崎和枝議員。

○2番（神崎和枝） そういった面談の相談体制を受けていく、詳細な、いろいろな悩み事を

聞いてということですが、今の保健師のその体制で間に合うのかどうか、そのあたりはもう進めているのか、お願いします。

○議長（木下 敏） 健康推進課長。

○健康推進課長（岩上 剛） 今回の新しい事業が追加することによって、もちろん当然、人数の確保というのも重要かと思っております。

現状では、とりあえず準備作業ということで、現状の体制で賄っておりますけれども、事業を進める中で、ちょっと人数の配置替えだとか、そういうことも検討していかなければならないと考えておりますが、これは様子、動向を見ながら検討させていただければと思っております。

以上でございます。

○議長（木下 敏） ほかに質疑ございませんか。

若山雅行議員。

○15番（若山雅行） 絞ると3点ほどの項目で確認させていただきたいと思えます。

まず、歳入のところで普通交付税3,258万8,000円ということで計上されているのですが、これで普通地方交付税では全て使い切ったことになるのか、まだ使用可能な残高があるのかどうか、その確認と、仮に残高が残っているとした場合、今年度中に何か使用する予定とか、そういうものがあるのかどうか、その確認をお願いします。

それと、同僚議員が先ほど質問しました出産・子育て応援交付金事業費、2,388万1,000円。これは国と道と市町村それぞれ割合が決まった支出ということで、対象440人に5万円支給するということなのですから、交付までのスケジュールというか、今、広報にも既に載っているという話があったのですけれども、我々のほうはまだ回っていませんので、その内容がよく分からないのですけれども、交付までのスケジュール、3月までにどういう形でお届けすると言うのですか、何かそのようなスケジュールをこういうふうにする、通知を出して応答して何かするとか、それとも今ある口座にすぐに振り込むのか、その辺のこ

ろをちょっと教えていただきたいなと思えます。

それと、単純に先ほど6分の4、6分の1、6分の1という割合だという説明をしたのですが、ちょっとこのトータルの額を割ると若干、金額が6分の1になっていないようですが、何か端数の調整とかその辺があるのかどうか、そこをちょっと確認させてください。

それと、今回、除雪委託料が計上されている6事業あるのですが、除雪委託の増額の積算内容というのはどのよう。先ほど、何回やるから幾らとか、1回幾らとか、そういうふうに決めてあれているのかどうかというのを施設の除雪と除排雪対策費というのがあるので、どのような積算でこういう金額を補正で追加しているのかどうかというのをちょっと教えていただきたいと思えます。

ちなみに、校舎等営繕費では、小学校も中学校も当初予算には全然計上していなかったのが、今回、新たにそういうことをするようになったのか、あるいは燃料費が高くなったので、こういう特別な予算を組んだとか、そのようなことでちょっと当初予算との関係含めて、今回、これだけ積算したという、その内容について教えていただければと思えます。

以上です。

○議長（木下 敏） 財政課長。

○財政課長（青山栄久雄） 1点目の御質問についてお答えいたします。

今回、補正用の財源としまして普通交付税を計上しておりますけれども、最終的な残額、流布額としましては残りあと1億967万9,000円程度が、まだ留保財源として残っています。

今後の留保財源の使い道になりますけれども、まだ年度途中なものですから、3月の整理予算があります。この中で、他の経費、いわゆる扶助費や、もしくは電気料、物価高騰に対する電気料、除排雪経費なので、追加で出てくるものについては、この過不足調整のために交付税を充てる予定で考えております。

また、年度途中でありますけれども、歳入の減額が見込まれるものもある程度、予定されております。これの歳入減額分の振替えとして普通交付税を充てていく予定で一応、考えております。

まだまだ3月まで期間があるものですから、不足の支出に対して対応できるように準備してまいりたいと思っております。

以上であります。

○議長（木下 敏） 健康推進課長。

○健康推進課長（岩上 剛） 出産・子育て応援交付金の関係でございます。

既に広報には住民の方に、こういう事業がこれから開始されますということで御案内の手続きをとらせていただいております。

スケジュールにつきましては、本日の臨時会で予算を承認いただき次第、2月1日から要綱を設置して、2月上旬には該当者に御案内の通知を発送させていただき予定で、今のところ進めております。

手続きにつきましては、文書でもって該当者に通知をさせていただき内容でございますけれども、その中にはこの事業の目的、そして面談の機会、伴走型ということの趣旨を交えながら御案内をさせていただき内容となっております。

また、国6分の4、道6分の1、町6分の1と、単純にこの割合にならないという部分でございますけれども、この項目の中の委託料、これにつきましてはシステム改修委託料で125万円計上させていただいております。

これにつきましては、国のほうで100%補助していただけるということで、これ以外のもので3分の2、6分の1、6分の1ということの割合になってございますので御理解いただければと思います。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 教育総務課長。

○教育総務課長（悟楼 司） それでは、私のほうから校舎等営繕費の除雪経費について、御答弁してまいりたいと思っております。

まず、この校舎、学校関係の校舎等の除雪経

費につきましては、当初予算で計上してございます。当初予算で計上しているのは、それぞれ7回分ということで除雪経費を計上してございます。このたび補正する際の積算内容ということでございますが、今回、契約をしてございますので、それぞれの学校の除雪の単価ということで、その実績をもとに6回分の金額を計上しているということでございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 土木課長。

○土木課長（笠原泰之） 町道等の除雪委託業務についてでございますが、当初では14回程度の除雪体制について例年どおり見込んでおりましたが、今年度は12月から降雪が多く、現時点で平均13回程度出勤しており、現予算では残り平均1回程度しか出勤できない状況となっております。

近年の平均であれば、残りの2月、3月あと5回程度の出勤が予測されることから、あと4回程度の出勤とそれに伴う排雪2回程度について積算し、補正していただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 都市住宅課長。

○都市住宅課長（川島篤実） 私からは、町営住宅内の除雪委託について説明します。

都市住宅課については大沼団地、桜団地、冬トピア団地、鳴川高台団地を除雪をしております。

積算方法については、先ほど土木課長が説明したとおり当初14回で今後5回程度、降る見込みがあるということで、増減として4回程度、予算を増額して対応していきたいと思っております。

以上であります。

○議長（木下 敏） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（川崎恵子） 私のほうからは、学童保育の除雪の関係の説明をさせていただきます。

大中山の学童保育のほうで8万5,000円増額補正させていただいたのですけれども、大中山の学童保育については、大中山小学校の除雪

業務と一体で委託をしているところで、敷地の広さで案分して契約をしておりますので、その分で予算が不足する可能性があるということで補正させていただきました。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 生涯教育課長。

○生涯教育課長（竹内圭介） それでは、私のほうからは生涯教育課の所管する施設の公民館の除雪について答弁してまいります。

こちらにつきましては、公民館、こちらは施設が三つ分ありまして藤城公民館、それと峠下公民館、そして大沼多目的会館ということで、こちらにつきましては当初15回それぞれ施設、除雪回数を予定しておりましたけれども、除雪回数が多いことから、それぞれ不足分として藤城公民館については2回分、そして峠下については3回分、大沼多目的会館につきましては5回分ということで、不足分を計上しております。

なお、単価につきましては、それぞれ契約しておりますので、契約単価を見ながら不足分として計上させていただいております。

以上です。

○議長（木下 敏） 財政課長。

○財政課長（青山栄久雄） それぞれの担当課長から各施設の除雪、もしくは排雪の回数、もしくは金額程度のことを答弁しておりましたけれども、私のほうからは当初予算について、除排雪経費の予算措置について御説明いたします。

令和4年度当初の予算において、重力事業科目において約1億2,900万円の除排雪の委託料が既に計上されております。

前回、12月での9号補正、今回の10号補正において、総額4,210万円程度が補正予算として追加され、今回、除雪、もしくは排雪の委託料の予算の総額としては1億7,150万円程度の予算計上となっております。これは前回の令和3年度決算額と比較しますと、約5,050万円程度増額された予算措置をされているという内容となっておりますので、御理解願いたいと思います。

以上です。

○議長（木下 敏） 若山雅行議員。

○15番（若山雅行） 詳しく説明ありがとうございました。

除排雪のあれでいくと、当初、予算を見たら乗ってなかったりしていたのがあったようなので、補正でどこかで入ったのかなと思うのですが、今回、雪が多いので予算が増えたということなのか、燃料費の高いあれで、除排雪の単価が変わったのかどうかとか、そのところを細かく知りたかったのです。

除雪は、これは必ずやってもらわないといけないですし、予算追加してでもやってもらわないといけないことだと思うので、その傾向としてどうだったのかなというところを知りたかったなということです。

それと、出産・子育て応援交付金、これは初めての交付金のような感じですがけれども、2月に入ってから通知を出してあれするというので、通知を送り返してもらって、どこどこに振り込むとか、そういうようなことになるのでしょうか。それとも、もう既に登録されている子ども手当だとか、そういうのと同じような形でそこに振り込むのか、生まれるだから改めて、その口座を登録した上で、そこに振り込むという、そういう作業がこれからあるということでしょうか。そこをお願いいたします。

それと、普通、地方交付税については1億も余っていると言ったら言葉が悪いですがけれども、残しているということなので、これはもっとこの時期になったら前向きに使うような形を考えないのかどうか、そのところをもう一度、予備のような使い方をするというようなニュアンスだったので、前向きにもっと町民の生活、今は物価高で苦しんでいるところがありますので、その辺を助けるような政策をするようなことに使えないのかどうか。そこを教えてください。

以上です。

○議長（木下 敏） 健康推進課長。

○健康推進課長（岩上 剛） 出産・子育て応援

援交付金の件でございます。

手続きの内容につきましては、議員おっしゃるとおり面談の機会に口座番号とか、振込内容の確認ができる書類を御持参いただいて、そこで振込作業に取りかかるという流れで考えております。

特に今回は令和4年4月1日以降に出産したお母様方対象となりますので、それ以前から妊娠された、令和3年中から妊娠されているお母様も対象になるものですから、そこは遡りでの2か月、3か月で処理していければと考えております。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 財政課長。

○財政課長（青山栄久雄） 交付税の流布額についての御質問が追加でありましたけれども、こちらにつきましては、既に当初予算から計上された額としましては、交付時において約2億1,800万円程度がいろいろな対応した予算として計上されて使われております。

今後、想定されるものとしましては、まずは歳入予算において減額されるものがもう既に何件かございます。まず、これの穴埋めをしない限りは、歳入欠陥を起こしてしまいますので、これの穴埋め分としては、ある程度、こちらのほうに振り向けていかなければならないという部分になります。

これは町債の減額分や、もしくは2款から11款までの国から交付される交付金で、多少の増減があるものですから、これらの穴埋めなどに備えていかなければならないものであります。

また、3月については、今のこの物価高、もしくは燃油高騰に対応して、その分の額をあらかじめ留保も念頭に、頭の中に入れておかなければならないような状況なものですから、こちらについては3月までにその状況を見極めながら対応していきたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（木下 敏） 土木課長。

○土木課長（笠原泰之） それでは、除雪経費

の補正についてでございますが、町道等各施設に含めまして、今回のこのたびの補正はあくまでも降雪量の著しい増加のための除雪回数の増加のための補正でありまして、労務単価等の経費が増えたとか、そういうものではないということで御理解いただきたいと思います。

○議長（木下 敏） ほかに質疑ございませんか。

上野武彦議員。

○9番（上野武彦） それでは1点、お伺いたします。

この北海道農業次世代人材投資事業補助金についてです。これは325万9,000円という金額なのですが、これで充分なのかという問題もありますけれども、要するに北海道農業が生産地として、日本の中でも重要な役割を果たしているわけでありまして、高齢化に伴いまして次世代にどうこの農業を引き継いでいくかというのは北海道農業の課題ともなっているというふうに考えるところであります。

その中で、こういう形で次世代育成ということを具体的に抱えた施策をやるということなのです。

この325万9,000円、具体的な施策の内容についてもう少し分かりやすく説明をしていただきたいと思います。

そして、また今の七飯町を含めたこういった次世代の世代、農業の継承ということを課題として充分答えられるような中身なのかどうか含めて、お考えをちょっと伺いたい。

○議長（木下 敏） 農林水産課長。

○農林水産課長（村上宏樹） それではお答えしてまいります。

この北海道農業次世代人材投資事業でございますが、新たに農業を志す方に対して、前年度の所得を勘案した形で農業の経営が安定するまで、最大5年間ですが、こういった補助金があるということでございます。

農業を始めた当初というのは、なかなか経営が安定しないというようなことでございますので、そういった趣旨でその分、支援していくというような内容でございますので、そういった

要件に基づいて行ってまいり事務でございます。

今回は2世帯の農業者の方に対して支出を考えているというものでございますので、金額はこういったものになってございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 上野武彦議員。

○9番（上野武彦） 今、お答えになられた範囲で、今回は2世帯を対象にしているということなのですが、金額的にこれで充分なのかというのはありますけれども、こういう事業はこれまでやってきているかと思えますけれども、これまでの実績といえますか、経過などについても含めてもうちょっとお伺いしたいと思えます。

○議長（木下 敏） 農林水産課長。

○農林水産課長（村上宏樹） それではお答えいたします。

今回、この農業者に対しては令和2年度に経営を開始してございますので、3年目に当たるということでございますが、手元に資料がないのですが、過去にもこういった形で農業を志して始めた方というのに、この事業を活用しているということはございます。

新たに農業を始めたい、そういうような方に対しては、こういった事業を活用しながら農業振興を図ってまいりたいと考えてございますので、御理解願います。

以上でございます。

○議長（木下 敏） 上野武彦議員。

○9番（上野武彦） 令和2年あたりから始めているということですが、今の範囲では実績としてどうかというような答弁ではなっていないような気がするのですが、そのあたり分かりましたらもう少しお知らせいただきたいということです。

それで、こういう事業は本来もっと広域に呼びかけて、こういう事業をやっていますよということも含めてアピールも必要ではないかと思うのですが、そういったあたりはどういうふうになっているのか、もう一度お願いします。

○議長（木下 敏） 詳細に説明願います。

農林水産課長。

○農林水産課長（村上宏樹） お答えいたします。

過去にこういった事業の名前というのはいろいろ変わったりすることがございますけれども、直近でございますと養鶏業をやられた方なども受けてございまして、過去にはこの名前とは違いますが、そういった類似した関係で花卉などを志した、花卉施設野菜そういったところを志した方にこういった類似するものが該当しているというのがございます。

以上でございます。

○議長（木下 敏） ほか、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 質疑を終わります。

これより、討論を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 討論を終わります。

これより、採決を行います。

議案第1号令和4年度七飯町一般会計補正予算（第10号）について、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（木下 敏） 御異議なしと認めます。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

閉 会 宣 告

○議長（木下 敏） 以上で、本臨時会に付議された全ての案件の審議は終了いたしました。

よって、令和5年第1回七飯町議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時38分 閉会

